

2025年10月31日  
神奈川県住宅供給公社

神奈川県住宅供給公社と大和市が  
「地域の見守りと安心できるまちづくりに関する協定」を締結しました。

～公社一般賃貸住宅が所在するすべての自治体との協定を締結～



右から4人目 大和市あんしん福祉部長 杉内様、左から3人目 当公社賃貸事業部長 島貴

神奈川県住宅供給公社(所在地: 横浜市中区)は、2025年(令和7年)10月29日、大和市と「地域の見守りと安心できるまちづくりに関する協定」を締結いたしました。

これにより、当公社の一般賃貸住宅が所在する16自治体すべてと地域見守りネットワークを構築することができました。

#### ■ 目的

この協定は、当公社と大和市が連携し、社会的に孤立した環境にある高齢者等を行政の適切な支援につなげることで孤立死、孤独死等の発生を未然に防止すること等を目的としたものです。

#### ■ 内容

大和市に所在する当公社の一般賃貸住宅を重点地域として位置付け、同住宅に暮らす高齢者・単身世帯等のご入居者を中心とした安心確保と異変の早期発見のため、大和市や同市所管の地域包括支援センター等、または当公社や当公社が指定する管理会社の職員が同住宅を訪問した際、異常に気付けば必要に応じてお互いに通報するというものです。

#### ■ 期待される効果

これにより、見守りの輪が広がるとともに、大和市に所在する当公社の一般賃貸住宅の見守り体制の向上に寄与するものと期待しています。

## ■今後の展開

本協定により、公社一般賃貸住宅が所在する全 16 自治体すべてと協定を締結しました。今後もご入居者の安心につながる見守り活動を進めるとともに、地域の声を取り入れながら、より安心して暮らせる住環境づくりを目指してまいります。

## ■当社の孤立死対策の取組み

当社は、一般賃貸住宅に暮らす高齢単身者などの孤立死・孤立化に対応すべく、2012 年度(平成 24 年度)より関係する居住者団体や管理会社で構成する「孤立死等防止対策検討会」を定期的を開催しています。居住者の皆様や管理会社による見守り活動、自治体との「孤立死等対策に関する協定」の締結、IT 機器を活用した公社のみまもり支援サービス「RefPaC (レフパック)」の導入などに取り組んでいます。

## ●参考 WEB ページ

孤立死対策の取組み状況について

<https://www.kanagawa-jk.or.jp/action/isolate.html>

公社のみまもり支援サービス「RefPaC」

<https://www.kanagawa-jk.or.jp/action/refpac/>

## ■会社概要

社名 : 神奈川県住宅供給公社  
代表者 : 理事長 高澤幸夫  
所在地 : 〒231-8510 横浜市中区日本大通 33 番地  
設立 : 1950 年 (昭和 25 年) 9 月  
事業内容 : 賃貸住宅管理事業、賃貸施設等管理事業、高齢者住宅事業  
資本金 : 3,000 万円 (出資者:神奈川県 1,500 万円、横浜市 750 万円、川崎市 750 万円)  
URL : <https://www.kanagawa-jk.or.jp/>

自治体名 : 大和市  
市長 : 古谷田 力  
所在地 : 〒242-8601 神奈川県大和市下鶴間 1 丁目 1 番 1 号  
URL : <https://www.city.yamato.lg.jp/>

## ■神奈川県住宅供給公社について

神奈川県住宅供給公社は、神奈川県の住宅政策の一翼を担う社会的企業として、社会情勢等の変化に応じた取組みを進め、持続可能な社会の再構築を目指すとともに、人生 100 歳時代における健康寿命の延伸に向けて、県民の皆さまの住まいと暮らしに貢献し、「皆様が笑顔で暮らし、選んでもらえる住宅」を提供し続けたいと考えています。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

神奈川県住宅供給公社 賃貸事業部 運営管理課

TEL : 045-651-1863 (営業時間 : 平日 8 時 30 分～17 時 15 分)